

平成28年度 第3回 和泉総合高校 学校協議会 記録

日時 平成29年2月4日(土) 10:30~12:00

場所 本校 応接室

出席者 委員(敬称略)

古川 恵美(会長) 福喜多 弘 一井 正次 竹田 竜彦

松尾 浩子 川端 幹子

学校・事務局

校長 事務部長 教頭(2名) 首席(進路指導部長) 生徒指導部長

1. 校長挨拶

2. 学校報告

① 生徒状況

昨年同時期に比べ懲戒指導の人数が2/3に減少した。軽微な違反(土足禁止違反、授業中のスマホ利用など)への指導も減少している。その中でも服装とスマホ(携帯)の違反がかなり少なくなったことが、指導累積による懲戒の減少となった。遅刻や欠席は改善しているが、依然として非常に多い。

生徒の意識は変わりつつある。エンパワメントスクールに改編されるタイミングで、指導も検討したい。

② 進路指導

就職は64人決定し、9名の希望者が未定である。卒業式までに内定が出るようにしたい。指定校求人は増加し、生徒の希望が反映できる水準になっている。しかし、工業・製造以外の産業・職種は求人が少ない。また生徒にしても3次産業がどのような仕事かがイメージしにくい。

進学は大学と短大で9人、専門学校が35人である。あと数人が未定である。

③ 授業アンケート・学校教育自己診断アンケート結果

今年は授業力向上であると年度当初に挙げたが、授業アンケートの結果から、この2年間で改善されているのが分かる。平均値の山が0.2ほど上がった。

学校教育自己診断アンケートは集計が終わったところで、経年変化などはこれから見ていく。全体として、保護者や教職員の肯定感の平均は下がり、生徒は上がっている。これによって、生徒と保護者・教職員の肯定感の差が少なくなった。生徒をみると、年次進行で肯定度や充実度があがっていく。また男女で差があり、男子のほうが肯定感が高い。

回収率は生徒・保護者・教職員とも改善された。

④ 学校経営

学校経営の自己評価をしている。今年の重点のひとつに生徒への支援体制を上げたが、家庭訪問件数が1.3倍になり、担任や学年団の先生方がんばってもらった。

資格取得10%アップは厳しい状況である。

就職指導は、夏休みの面接指導徹底などで成果が上がっている。

安全で安心して生活できる学校づくりや魅力ある授業の創造と実践については、なんとか達成できた感触がある。

3 協議

○生徒指導件数の減少の要因は？

イエローカード制（軽微な違反の累積で懲戒となる）をとって2年になる。それによって昨年は懲戒件数が増加したが、事前に声かけを徹底することで少なくなってきた。しっかりと声をかけることを心がけている。

○生徒状況について

1年次途中の転退学が増えている。支援金支給の関係もあり、途中で転退学する例が増えている。

入学時に高校の授業や規則に対し十分に理解しないまま過ごし、転学を考える生徒もいるのは事実である。

○進路の進学で、公共の施設とはどのようなところか？

港湾の教育訓練施設である。他に近畿職業能力開発大学校(岸和田)などを希望する生徒もいる。

○就職で、求人数が増えたがミスマッチはないのか？

そうならないように、職場見学などを徹底している。

介護関係の仕事は増えているが、大変である。また資格が必要であるので補助職になる。昔は働きながら資格をとるようなシステムがあったが、今は補助職のまま仕事が続く。

看護師の希望はあるが、準看も含め看護学校になかなか合格しない。3年になってからではとても間に合わない。また高い学費も厳しい。

○工業科を活かしたエンパワメントスクール(以下エンパワ)になるのか？

検討中である、工科高校ではないので施設などが更新されず縮小せざるを得ないが、工業の伝統は引き続き継承したい。エンパワは学び直しが核となる学校である。男女比など生徒の実態に合わせた特色を考えていく。

朝は10分学習やユニット学習などあるので、遅刻が多い生徒には難しい制度である。変わっていくところはしっかりとアピールしたい。校内で検討しているが、6月くらいに概要を発表できる。

○クラブ活動や生徒会活動の状況は？

クラブ活性化まで十分に組み合わせていない。春にクラブ紹介をして入部の声かけをして感触はある。

テニス部やバスケットボール部などは戦績があがっている。また柔道部は実業大会に参加し勝利をあげている。朝練をするクラブもある。

文化祭や体育祭への関心も高くなった。文化祭では体育館(舞台)企画が増えた。同じような企画が多いので、企画内容の向上をめざしたい。

○学校経営や学校教育自己診断アンケートについて、保護者の参加が少ないのではないか。

○学校からの情報発信をもっとすべき。ホームページの更新が増えているが、一部だけだ。

○エンパワ改編があるが分かりにくいところがある。

○食堂の状況は？

生徒数減少で食堂の維持ができない学校もある。本校は利用が多いほうであり、維持しなくてはならない。本校の業者さんは厳しい中、がんばっていただいている。

○多方面であるが分かりやすい資料を用意してもらったので、この一年の取り組みが分かり、楽しく協議を進めることができた。

4 校長挨拶